



32歳  
小金井  
育ち

# 坂井えつ子の つながる小金井通信



事務所：小金井市本町 2-19-36（市民自治こがねい）  
TEL/FAX：042-316-1619 メール：tunagarukoganei@yahoo.co.jp  
HP・ブログ・Twitter・Facebook ⇒ [坂井えつ子](#) 検索  
発行：坂井えつ子とつながる小金井の会 2013年2月3日 **第5号**

## だれもが地域で 暮らせる社会に



現在、「精神障がい者」と呼ばれる方たちが暮らすグループホーム（GH）※で働いています。地域生活が可能にもかかわらず、一人暮らしや家族との同居が困難などの理由から入院生活を送らざるを得ない「社会的入院」をしている方にとって、GHは必要な場所です。高齢化が進む中、家族で暮らしている方にとっても、「親なきあと」の生活が課題となっています。「精神障がい者」のGHは市内 4 カ所にあります。入居を希望される方は多く、社会福祉法人・NPOとも連携しながら増設を進めていくべきです。

※職員のサポートや入居者同士の支え合いで、地域社会に溶け込みながら共同生活を送る場(住まい)。認知症の高齢者や「知的障がい者」のGHもあります。

### まずは知り、触れ合うことから「心のバリアフリー」を

仕事の話をする、多くの方は「大変な仕事でしょう」「実際どんな人たちのなの？」「精神障がいってなに？」と言います。私自身も、今の仕事に就く前は身近に接した経験がなかったため構えていました。しかし現在、入居者さんは一人ひとりがかけがえのない大切な存在です。相手のことを知れば、差別や偏見はなくなります。「精神障がい者」の方が地域で生活していくには、まず、市民が理解を深めることが必要です。

小金井市では、障害（身体・知的・精神）に対する理解を深めるため、市職員研修を行っています。市民向けには、心身障がい児者との交流の場はありますが、精神障がい児者との交流の場はまだありません。例えば、市は集会所の枠を押さえて「老人いこいの場」として、高齢者の交流の場を提供していますが、「精神障がい者いこいの部屋」として当事者や市民が交流する場を作ることもできます。

また、障害者福祉計画では、「幼児期からの福祉教育・交流事業が望まれます」とありますが、行われていません。そもそも、障がいのある子どもも一緒に育ち、学べる環境づくりが必要です。

選挙に行こう！3月24日は小金井市議選です

### さよなら原発！ 街かどリレートーク

福島の原発事故からもうすぐ2年。事故を繰り返さないため、美しい地球をつないでいくため、まずは小金井から、社会のあり方を変えていきましょう。市民によるリレートークを行います。

日時 \* **3月3日(日)**  
14:00~15:30  
(雨天中止)

場所 \* JR 武蔵小金井駅南口

\*\*\* 主催 \*\*\*  
坂井えつ子とつながる小金井の会

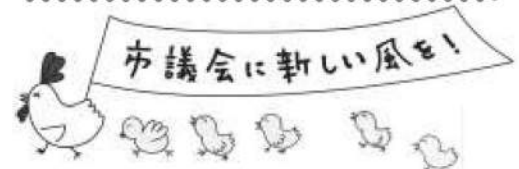
### つながるお茶会

◆◆◆◆◆  
「小金井市をもっとよくしたい」  
「小金井市のここが不便」etc.  
お茶を飲みながら話しましょう！  
途中参加・退席もOK。  
お気軽にお立ち寄りください。

日時：毎週木曜 16:00~17:00  
(2/7・14・21・28)

場所：坂井えつ子とつながる小金井の会事務所（市民自治こがねい）武蔵小金井駅北口5分

お茶菓子代：100円



「坂井えつ子とつながる小金井の会」の政策3本柱  
**小金井でつながる 未来につなげる**  
～7世代先のことを考えたまちづくり～

1. 人と人がつながる支え合いのまちづくり **福祉**

- 「障がい者」も地域で暮らし働けるまち
  - ・就労支援～市役所での雇用を拡大
  - ・グループホームの増設
- 孤立しない介護・介護者支援
  - ・各地域包括支援センターで家族介護者の交流会を
  - ・家族介護者への訪問事業
  - ・往診、訪問看護の充実を
  - ・「高齢者福祉のしおり」など刊行物の周知を
- 誰もが自分らしく暮らせるまち
  - ・ジェンダーフリーな社会
  - ～性的マイノリティも生きやすいまち
  - ・小金井市外国人市民会議の開催
- 地域で見守る子育て、教育
  - ・子育て支援のネットワーク
  - ・郷土学習、環境教育の促進
- 市内にある場や情報の共有
  - ・空き店舗を有効活用
  - ～市民が憩える居場所づくり・若者カフェの開催など
  - ・市内のイベントや市からのお知らせをメール配信



2. 自然とつながった共生のまちづくり **環境・平和**

- 脱原発と被ばく防護を自治体で
  - ・脱原発小金井宣言・市内放射能汚染 MAP を作成
  - ・放射能ハンドブックの作成と配布
- ゴミ・ゼロ・ウェイスト宣言でゴミゼロ都市に
- 玉川上水・国分寺崖線(はげ)・野川の自然保護
- 環境にやさしいエコ庁舎に
- 車中心社会から、歩行者・自転車に快適なまちに
- 9条を選びとる。東アジア地域の平和を日本から発信
  - ・平和事業の充実
  - ・平和条例の制定を

3. 市政・議会を身近につなげる **民主主義**

- 議会基本条例の制定でより開かれた議会に
- 4年に1度は市議会アンケート
- 市民交流センターに投票所設置で投票率UP!
  - ・期日前投票も市民交流センターで!!

**坂井のつばやき**

**遺された人への心のケアを**

父は緊急入院後、投薬により意識レベルの低いまま5日後に他界しました。本人の意思が確認できないなかで治療の判断はあれで良かったのか。そもそも父は最期は家で過ごしたかったんじゃないのか。大切なことなのに話し合えていなかったことが悔やまれます。

最近、死別の悲嘆を抱える人に対する心のケア「グリーフケア」が注目されています。死別の悲しみから心身の病にかかる人もいるなか、行政としても取り組んでいくことが必要だと考えます。

**坂井えつ子のプロフィール**

1980年大阪市生まれ  
10歳の時、小金井市に転入  
現在は桜町在住  
小金井市立緑小学校  
緑中学校卒業  
都立小金井北高等学校卒業  
日本大学法学部法律学科卒業  
日本福祉教育専門学校言語聴覚療法学科入学



20代後半で、在宅で親を介護する大変さを経験。介護する側へのケアの必要性を痛感する  
「憲法9条を守り東アジアから平和な社会をつくろう」と韓国一周100日Walkに参加。  
現在、NPO法人びあたちばな勤務。精神障がい者と呼ばれる方達が暮らすグループホームで働く  
小金井市図書館協議会委員(2011.11～2012.10)  
市民自治こがねい運営委員/みどり三多摩運営委員  
緑の党結成に参加・Youthチームとしても活動中

**応援します!**

皆さんはどんな町に住みたいですか?私は優しい町が良いです。お金では無い大切なものを守りたいです。

困っている人がいたら助け合う町:繋がりを増やして、顔と顔を付け合せたお付き合いが出来れば、困難が少しでも解消されるかもしれません。

安心して暮らせる町:学校給食の放射能対策含め安全性の確保は大人の責任です。給食を通じての被ばくは断じて許されません。

坂井えつ子さんは、夢に向かって市民と共に歩みを進めていける人です! (緑町/田辺明日香)

**推薦します!**

坂井さんは、お母様を在宅介護で看取った経験や、障がい者施設での勤務などを通して、地に足の着いた視点を持っています。「人にやさしい」確かな政治を実践できる人です。(漢人あきこ/緑町/小金井市議会議員)



**会員募集中!坂井えつ子とつながる小金井の会**

年会費:一口2,000円 カンパ大歓迎

郵便振替口座:00130-3-652172

坂井えつ子とつながる小金井の会

